

「名古屋活動写真」の活動視察
(インターンシップみかんの日記)

日時：2013年9月1日（日）

見学時間：11:40～13:00

場所：那古野の川伊藤家

交通：地下鉄鶴舞線・桜通線 丸の内駅下車

【「名古屋活動写真」について】

「名古屋活動写真」は、これまでも名古屋の歴史、文化、市民活動などを映像作品としてまとめあげ、上映会及び講演会、DVD 配付などを行ってきています。

今年度は、ドキュメンタリー映画「堀川物語～川と人と町～」の制作を行います。堀川の様々な分野の専門家はもとより、市井の語り部のインタビューと資料、映像を織り交ぜ、映像化し、川と人と町をテーマに30分程度のドキュメンタリー作品とします。少しでも多くの市民に訴求し、テーマを共有するため、上映会の他、制作に関わった方の参加を得て講演会を実施し、また、公共施設、各種団体へのDVDの配付も予定しています。

【活動の様子】

今回、愛知県指定文化財となっている伊藤家のインタビュー収録の見学に行ってきました。

名古屋市都心部は、戦災を受けて、多くの伝統的建築物等が失われており、城下町時代の面影をほとんどとどめておらず、今に残る伊藤家住宅は、四間道にあるとても風情ある建物で、堀川との深い関連を示すものとしても貴重です。



伊藤家の外観

名古屋活動写真が今回製作する映画の題名が「堀川物語～川と人と町～」ということもあり、堀川に架かる五条橋の上で、伊藤家の伊藤喜彦氏と市民団体「堀川文化を守る会」の伊藤公夫氏とにインタビューの撮影が行われました。



現在の堀川

両氏とも、堀川を背景にして、堀川の歴史、思い出について語って見えました。

公夫氏は、堀川文化は名古屋の文化そのものであること、名古屋は歴史のまちで若い人にもっと知ってもらいたいということを強く訴えていました。

今は川が淀んでいますが、昔はきれいだったそうです。



撮影の様子



収録の様子

次は、場所を移動して、本家の奥座敷でインタビュー収録をしていました。

こちらでは、愛知県指定文化財となっている伊藤家の歴史と今についてインタビューをしていました。

伝統的・歴史的建造物を維持・保存していくことは、やはり大変であるそうです。

今も江戸時代の趣を残す伊藤家の家屋に入れたことは、とても貴重な体験でした。

撮影は終始和やかな雰囲気でした。



玄関から入った土間には、涼しげなのれんが掛けられています。

のれんは夏と秋とに変わるそうです。

こちらは夏仕様です。



みかんの感想

とても貴重な体験をさせていただきました。古い建物を維持・保存していくことは、やはり維持の仕方や維持費がかかって難しいそうです。このような貴重な歴史的建造物や文化を残していくことは、大事だと思います。

私は、自分の住んでいる所であるのに、まだまだ名古屋について知らないことだらけであると思いました。それと同時に、自分の住んでいるまちについてもっと知りたいと思いました。

名古屋活動写真さんの製作しているドキュメンタリー映画を通じて、堀川の歴史、名古屋の歴史をもっとたくさんの人に知ってもらいたいと思いました。また、映画が完成したら、私もぜひ拝見したいと思いました。



おむすびの感想

取材は、堀川に架かる五条橋の上と、川伊藤家の奥座敷の中での撮影と取材がありました。曇り空でしたが蒸し暑い日で、1時間強の取材と撮影のなか、名古屋活動写真の方々は汗だくになりながらも重そうな器材を慎重に扱いながら撮影されている姿が印象的でした。奥座敷の取材中に、中庭から涼しい風が通り抜け、日本家屋ならではの造りの良さを感じました。

取材に応じてみえた、堀川文化を守る会の伊藤さんが「堀川は名古屋の歴史そのもの」と熱く語ってみえましたが、自ら歴史を体験し、学び、伝えていこうとする側の想いを取材を通して聴くことにより、その想いが名古屋活動写真の方にも伝わっているようでした。そうして直接感じて伝わった想いを、更に多くの方に届けたいという想いが、今度は作品へと息が吹き込まれ、いい作品が生まれるように感じました。